



RPCA 製品審査基準 適合証明書

証明書番号 I 2 2 -WU 1 1 3 号

松岡コンクリート工業株式会社 殿

貴社の「CD側溝（深溝型）」は、当協会道路プレキャストコンクリート工技術審査委員会における審査の結果、下記のとおりRPCA製品審査基準に適合したことを証明します。

一般社団法人 道路プレキャストコンクリート製品技術協会

会 長 棚 橋



記

1. 基本事項

製 品 名：CD側溝（深溝型）

製品区分：I群製品

U形側溝（深溝型）

証明書有効期間：2023年4月1日～2026年3月31日

2.申請区分

品種区分		申請区分	
製品区分	I 群	重要度	重要度1
大分類	水路工	要求性能;常時	性能1
中分類	U形側溝	規格の範囲	(B≤600mm)&(600mm≤H≤1500mm)
小分類	深溝型(B≤600mm)&(600mm≤H≤1500mm)	設置環境・条件	
申請区分	製 I-水側U-2		

3.製品審査結果

中項目			審査項目及び審査基準		判定	摘要条件
小項目		審査基準				
荷重	自重	単位体積重量	埋戻し土	道路PCa工指針 第6編 水路工 [327]～[329] 3.2設計に用いる荷重	clear	
			鉄筋コンクリート	道路PCa工指針 第6編 水路工 [327]～[329] 3.2設計に用いる荷重	clear	
			自重の考え方	道路PCa工指針 第6編 水路工 [327]～[329] 3.2設計に用いる荷重	clear	
	土圧	主働土圧	土圧式	道路PCa工指針 第6編 水路工 [327]～[329] 3.2設計に用いる荷重	clear	
			活荷重	直載荷重(本体、蓋版)	縦断時	道路PCa工指針 第6編 水路工 [327]～[329] 3.2設計に用いる荷重
			乗入れ横断時	道路PCa工指針 第6編 水路工 [327]～[329] 3.2設計に用いる荷重	clear	
			近接荷重(本体)	道路PCa工指針 第6編 水路工 [327]～[329] 3.2設計に用いる荷重	clear	
	荷重の組合せ	本体	直載時(縦断、乗入れ横断)	U型側溝 推奨計算方法 (4) 検討ケースおよび荷重組合せ	clear	
			近接時	U型側溝 推奨計算方法 (4) 検討ケースおよび荷重組合せ	clear	
			蓋版	直載時	U型側溝 推奨計算方法 (4) 検討ケースおよび荷重組合せ	clear
材料及び設計諸定数	コンクリート	設計基準強度	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上であること。	clear		
	鋼材		JIS A 5364に規定されるものであること。 JIS以外は、SD295、SD345同等以上の性能であること。	clear		
許容応力度	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度		U型側溝 推奨計算方法 (6) 許容応力度	clear		
	コンクリートの許容せん断応力度		U型側溝 推奨計算方法 (6) 許容応力度	clear		
	鉄筋の許容応力度		U型側溝 推奨計算方法 (6) 許容応力度	clear		
部材の安全性の 照査	解析方法		許容応力度法によること。	clear		
	構造耐力	底版端部	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。 (U形側溝 推奨計算方法 (5) 部材照)	clear	
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。 (U形側溝 推奨計算方法 (5) 部材照)	clear	
		底版中央	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。 (U形側溝 推奨計算方法 (5) 部材照)	clear	
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。 (U形側溝 推奨計算方法 (5) 部材照)	clear	
		側壁付根	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。 (U形側溝 推奨計算方法 (5) 部材照)	clear	
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。 (U形側溝 推奨計算方法 (5) 部材照)	clear	
	蓋版	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。 (U形側溝 推奨計算方法 (5) 部材照)	clear		
		せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。 (U形側溝 推奨計算方法 (5) 部材照)	clear		
	側壁	たわみ(変形)量	側壁本体と蓋のクリアランスの1/2または、2mmのいずれか小さいほうとすること。	clear		
	蓋掛かり	せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。 (U型側溝 推奨計算方法 (8) 張出蓋受け部の検討)	clear		
	耐久性	鉄筋のかぶり	12mm以上または8mm以上であること。	clear		
その他の仕様	基礎材	使用材料	再生砕石(RC-40)を標準とする。 (道路PCa工指針 第6編 水路工編 [14])	clear		
		厚さ	再生砕石(RC-40)を標準とする。 (道路PCa工指針 第6編 水路工編 [14])	clear		
	躯体同士の接合	接合仕様	目地工の処理方法が規定されていること。	clear		
施工	施工マニュアル	施工の手順	設計・施工マニュアル等に記述があること。 (道路PCa工指針 第6編 水路工 [14]～[15] 第6章 U形側溝 6.3 施工方法及施工上の留意点)	clear		
		施工上の留意点	設計・施工マニュアル等に記述があること。 (道路PCa工指針 第6編 水路工 [14]～[15] 第6章 U形側溝 6.3 施工方法及施工上の留意点)	clear		

3.製品審査結果

中項目	審査項目及び審査基準		判定	摘要条件
	小項目	審査基準		
製品の品質	外観	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第6編 水路工編 [13] 第6章 U形側溝 6.2.1 受渡検査 道路PCa工指針 第3編 製造編 [16]～[17] 第3章 検査)	clear
	形状寸法	検査頻度・方法、測定箇所、形状寸法及び寸法許容差、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第6編 水路工編 [13] 第6章 U形側溝 6.2.1 受渡検査 道路PCa工指針 第3編 製造編 [16]～[17] 第3章 検査)	clear
	コンクリートの圧縮強度	試験頻度・方法、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第6編 水路工編 [13] 第6章 U形側溝 6.2.1 受渡検査 道路PCa工指針 第3編 製造編 [16]～[17] 第3章 検査)	clear
	構造耐力	試験頻度・方法、載荷荷重、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質に定めた項目についての記述があること。 載荷試験により構造耐力の確認が実施されていること。	clear
材料の品質	品質	使用する材料の品質	製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第3編 製造編 [5]～[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2.1 製造方法 2.1.2 材料の受入と貯蔵)	clear
	受入検査	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第3編 製造編 [5]～[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2.1 製造方法 2.1.2 材料の受入と貯蔵)	clear
	貯蔵	貯蔵の管理方法	製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。 (道路PCa工指針 第3編 製造編 [5]～[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2.1 製造方法 2.1.2 材料の受入と貯蔵)	clear

審査委員会

委員長

宮川豊

